

学習内容報告書 フォーマット

学校名	三重県鳥羽市立答志小学校
授業者	齋藤 哲彦

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

水産物の魅力アップ作戦を知る

1-2. 学年

5年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科 総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

社会科で日本の水産業について学習し、水産物の魅力を高めることや環境を保全することを学習してきた。子どもたちの地元、答志島も漁業の盛んな地域である。そこで、自分たちの身の回りでは水産物の魅力を高めるためには、どのような取り組みが行われているかを調べ、地域への関心や愛着を高める。またその学習の過程で出会う環境の問題にも関心を持つ学習を展開する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

答志島には魅力的な水産資源がある。漁協協同組合や漁師の方々をその魅力を高める取り組みを行っている。その取り組みについて調べる学習を通して、地域の水産業に関心を持ち、見つけた良さを発信できるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・水産業に関わる方々の工夫や努力を知り、自分の生活に生かす能力を身につける。
- ・環境保全の必要性を認識し、その問題に主体的に取り組もうとする態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全10時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
----	-----------	------------------------------

1	社会科で日本の水産業について学習し、地元の漁協見学を計画する。	<p>○教師の指導：地元の水産業を取り上げ、漁協見学の計画をする。</p> <p>○主な評価：課題設定</p> <p>○外部連携：鳥羽磯部漁協答志支所、和具浦支所</p> <p>○使用教材等：ワークシート</p>
2 3	鳥羽磯部漁協答志支所で水産物の流通について見学し、衛生管理について調べる	<p>○教師の指導：見学の引率</p> <p>○主な評価：課題解決</p> <p>○外部連携：鳥羽磯部漁協答志支所</p> <p>○使用教材等：ワークシート：デジタルカメラ</p>
4 5	鳥羽磯部漁協和具浦支所で水産物の魅力を高める取り組みをインタビューし、サワラのブランド化、ワカメのエコラベルの取り組みを調べる。	<p>○教師の指導：見学の引率</p> <p>○主な評価：課題解決</p> <p>○外部連携：和具浦支所</p> <p>○使用教材等：ワークシート：デジタルカメラ</p>
6 7	漁協新聞を作り、答志の水産物の魅力を上げる取り組みをまとめ、発表する	<p>○教師の指導：新聞作成の指導</p> <p>○主な評価：情報整理分析、発信力</p> <p>○使用教材等：新聞用ワークシート、見学時の写真</p>
8 9	海の子フェスタに向けて発表したことを話し合い、準備をする。	<p>○教師の指導：発表内容を話し合わせる。内容の整理。</p> <p>○主な評価：発信力</p> <p>○外部連携：鳥羽磯部漁協答志支所、和具浦支所</p> <p>○使用教材等：画用紙、段ボール、見学時の写真や動画</p>
10	海の子フェスタで、他学年の児童、保護者に向けて発表する	<p>○教師の指導：発表の補助（音声、準備物）</p> <p>○主な評価：発信力</p> <p>○外部連携：保護者</p> <p>○使用教材等：再現する衣装や小道具（画用紙、段ボール、見学時の写真）</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

サワラのブランド化、ワカメのエコラベルの取り組みを聞き取り、水産物の魅力アップの方法を知ろう

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1, サワラがブランド化された経緯、サワラの魅力を知る。	・説明してくださる方を紹介する。 （鳥羽磯部漁協 中川さん、佐藤さん）
2, ブランドとして大切にしていることを調べる。	・サワラのブランド化について、始まった経緯、実際の取り組み、漁協や漁業者の努力を説明していただく。（評価の視点：ワークシートの記述）
3, ワカメのエコラベル認証の取り組みを知る。	・ワカメのエコラベル認証について、始まった経緯、実際の取り組み、漁協や漁業者の努力を説明していただく。（評価の視点：ワークシートの記述）
4, ワカメのエコラベル認証に必要な環境保全について知る、	・ワカメのエコラベル認証に必要であった環境調査、保全の取り組みを説明していただく。（評価の視点：ワークシートの記述）
5, 聞き取ったことを整理し、質問する。	・サワラのブランド化、ワカメのエコラベル認証について、疑問や分かったことを発表させる。（評価の視点：発表）

3. 今回の活動の自己評価

- ・サワラがブランド化された背景やワカメがエコラベルの認証を受けた経緯を知り、漁協と漁師が協力して取り組んでいること、関係する人が努力していることを理解することができた。
- ・答志漁協では魚が衛生的に管理され、消費者のことを考えた取り組みに気づくことができた。

4. 今後の課題

- ・漁協の見学は、見学できる場所が多岐にわたっており、見学の目的を明確にして行うほうがよかった。
- ・子どもたちに、今後考えてほしいことも提供していただけるとよかった。
- ・水産物の魅力を高める取り組みを子どもたちが立案し、漁協へ提案する活動などができるとよかった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。